



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

すまい造りメール

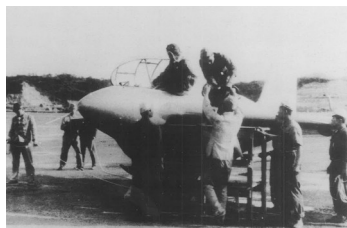
第279号 2025年6月号

SINCE 2002.4.1.

Oppajimail

♪Now And Then「おっぱじメール」その③

平成13年に発行された「追浜ふるさと写真集」（追浜地域文化振興懇話会）の写真を現在、未来（再開発）と比較しつつ、戦争に翻弄されながら発展していった追浜の歴史を振り返ります。



写真には以下のような説明が添えてあります。

『ロケット戦闘機 昭和20年。ロケット戦闘機「秋水」は、わが国航空史上唯一のロケット・エンジン推進の戦闘機で、この年の7月7日追浜飛行場で試験飛行がおこなわれました。写真は飛行直前のもので、このあと飛行に失敗。遂に実戦に間にあいませんでした。』

秋水は局地戦闘機で、急上昇できるロケットエンジンを搭載し、30mm砲で米軍の爆撃機B29を迎撃する作戦でした。ドイツから入手した寸法のない外形図とわずかばかりの資料から、当時確執のあった帝国陸軍と海軍が共同で11か月という短期間で試作機が開発されました。追浜飛行場でテスト飛行が行われましたが、失敗に終わり、パイロットの尊い命が犠牲になりました。その後、このプロジェクトは再開されることなく終戦を迎えました。

終戦後、ニッポン人の技術力と努力はその跡地に建設された工場地帯に受け継がれていきました。

（すまい造りメール第41号参照）



皆様のご愛顧、ご愛読に感謝申し上げます
創業 1960.1.20. 創刊 2002.4.1. **Next100**

お客様からこんな相談を受けました。玄関先で作業服を着た人に「近くで工事をしているんだけど、お宅の屋根が剥がれているのが見えたから、無料で点検しましょうか。このままだと雨漏りしますよ」と言われたんですが…。

点検商法とは、「点検」と称して電話や訪問をして「工事が必要」「修理をしないと危険」などと言って、不安をあおり契約させる商法です。

「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」

令和6年4月～12月に県内の消費生活相談窓口寄せられた給湯器、分電盤、屋根工事などの「点検商法」に関する苦情相談件数は過去最多の2,179件で、65歳以上の割合が高く、全体の約7割となっています。訪問営業するすべての業者が悪質とは限りませんが、初対面で提案される点検は避けて、トラブルに巻き込まれないためにも、名刺など連絡先を控えておくことをお勧めします。なんらかの理由で名刺の提示がない業者については特に警戒をした方が良さそうです。

尚、クーリング・オフなどができる場合があります。不安に思ったら消費生活センターに相談しましょう。

神奈川県消費生活課 045(312)1121



「劇的な」リフォームではないかも知れませんが、ピフォア、アフター、さらにそのアフターまでお手伝いさせていただきます。

ローカルニュース
地域情報

三浦半島周辺で開催されるイベントや地域情報等を紹介します。

◆小栗上野介という人

2027年にNHKで放映される大河ドラマ「逆賊の幕臣」の主人公・小栗上野介に関する全3回の横須賀開国史研究会の基礎講座のご案内です。

《講師》山本詔一

（横須賀開国史研究会会長）

《日時》14:30～16:30

①7月11日(金)

「小栗アメリカへ」

②7月18日(金)

「小栗と横須賀製鉄所」

③7月25日(金)

「小栗を取り巻く人々」

《会場》ヴェルクよこすか

（6階第1会議室）

《受講料》

横須賀開国史研究会

会員 2,000円

会員以外 3,000円

《締切》6月19日(木)

6月27日に結果通知

《申込方法》

(1)往復はがき

〒238-8550

横須賀市役所文化振興課内

横須賀開国史研究会 事務局

(2)電子メール

cup-pc@city.yokosuka.

kanagawa.jp

※「開国史基礎講座参加希望」と明記の上、住所・氏名・電話番号を記入(記載)してください



死を恐れず

私利私欲に囚われず

日本の未来を夢見た男

その生きざまを紐解きます



富士見公園の忍塚と無縁塔

横須賀市富士見町1丁目と2丁目の谷戸を隔てる尾根道の途中に富士見公園があります。この公園の一角の木立の中に数個の墓碑石群が安置されているところがあります。この敷地にはかつて無縁仏が祀られていました。無縁仏とはお葬式や供養をする親族や縁者がいない故人やお墓のことです。

では、なぜ横須賀という田舎町、血縁関係がしっかりしている土着の地に、無縁仏が祀られていたのでしょうか。それは横須賀製鉄所と関連があります。横須賀製鉄所の建設が始まると、山を崩したり、土砂を運搬したりと多くの人手を必要としました。重機などのない時代、こういった重労働を海軍監獄（後の横須賀刑務所）の服役者など、いわゆる寄場人足が従事することが少なくありませんでした。工事中に不慮の事故で亡くなる作業員もいて、明治18年（1885年）に監獄墓地として、神奈川県が永島六次郎の所有する畑を買収しました。そして、軍港として横須賀が発展する中で、明治21年（1888年）の「大滝町の大火」によって焼失した遊郭が近隣の柏木田に移転してきました。そこで働く人達が亡くなった場合も、無縁仏としてこの地に埋葬されたようです。また、関東大震災でも身寄りのない犠牲者が埋葬されました。その後、大正3年（1914年）に神奈川県から横須賀市に所有権が移転し、昭和34年（1959年）に敷地の一部が整備され、富士見公園として開園しました。さらに、昭和60年（1985年）の大改修によって現在のようにになりました。



現在の公園は、地元の有志によって定期的に清掃がなされ、地元の人々の運動、団らん、憩いの場として利用されています。忍塚と供養塔には日々お花が供えられ、毎年5月には、富士見会、光栄町内会が中心となって、柏木田町内会など地元の有志の人たちによって、慰霊祭が行われています。

横須賀を創り上げてきた先人たちへの感謝の祈りは今年で40回目を迎えました。

（参考資料「改版富士見公園の忍塚と無縁塔」「第40回富士見公園無縁墓地慰霊祭での関係者様のご挨拶」）



よこすか近代遺産ミュージアム
ティボディエ邸



ミュージアムには、小屋組みを移設した実物展示のほか、日本近代化の礎となった横須賀製鉄所の歩みなどが展示されています。

9:00～17:00 年中無休
詳細につきましては施設にお問い合わせください。 ☎046(822)9478



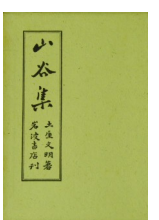
よこすか文学館

【114】

横須賀が登場する文芸作品（マンガも含む）や横須賀に縁のある文学者を紹介します。

つちやぶんめい さんこくしゅう
土屋文明『山谷集』（岩波書店）

土屋文明(1890～1990)は群馬県生まれ、近現代短歌史上の大歌人で、1986年に文化勲章を受章しました。高崎中学卒業後、上京。東京帝大在学中に芥川龍之介とともに第三次「新思潮」に参加し、卒業後、松本高等女学校等の校長を歴任。1924年に再上京し、歌誌『アララギ』の中心として活躍しました。第3歌集『山谷集』(1935年)には1930年から1934年までの作品が収載されており、そのなかに「横須賀」と題する、「軍艦は出(い)でたるあとの軍港に春の潮みちくらげ多く浮く」などの18首や「相模走水」と題する7首の連作があります。また同歌集の中でも著名な歌「吾が見るは鶴見埋立地の一隅ながらほしいままなり機械力専制は」の次に「横須賀に戦争機械化見しよりもここに個人を思ふは陰惨にすぐ」が配列されています。（洗足学園中学高等学校教諭 中島正二）



「よこすか文学館」のシンボルマークは芥川龍之介の小説「蜜柑」が由来です。文学碑はその舞台となった踏切の近くの吉倉公園にあります。



お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2025」A-9歩ZONE版（永久保存版）を（Blog「Oppamap2025」より）ダウンロードすることができますので、是非ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索